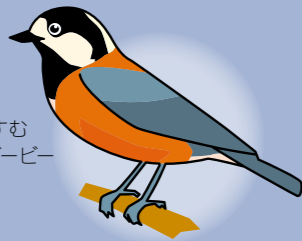


みずまきの鳥たち

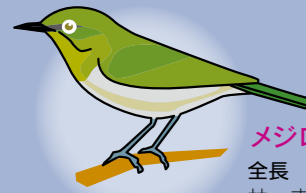
残念なことに水巻町で見られる野鳥は年々減少していて、回復も難しいと言われていて、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、ホオジロ、コゲラ、ヒヨドリなどが年間を通して水巻町に生息する留鳥としてみられます。



シジュウカラ
全長 約 14.5cm
林、市街地などにすむ
さえずり ツーペーツーペー



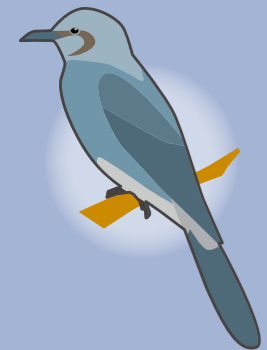
ヤマガラ
全長 約 14cm
常緑広葉樹の林にすむ
さえずり ツツピーピーピー



メジロ
全長 約 11.5cm
林、市街地などにすむ
さえずり チーチュル
チーチュルルル



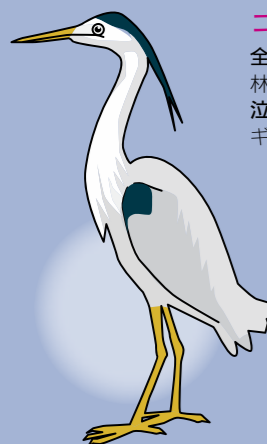
ホオジロ
全長 約 16.5cm
常緑広葉樹の林にすむ
さえずり ツィ チョチヨ
チョジュクジュクチー



ヒヨドリ
全長 約 27.5cm
林、市街地などにすむ
泣き声 ピーヨ ピーヨ
ピーヒョロロ



コゲラ
全長 約 15cm
林や公園などにすむ
泣き声 ピーヒョロロ
ギーツ、キッキッキ



アオサギ
全長 約 93cm
河川、湖沼、農耕地にすむ
泣き声 ゴアッ

バードコール
木と金属を擦り合わせる事で鳥の鳴き声をまねる道具です。上手に鳥とお話してみよう。



やわらかなひざしに誘われて

みずまきの山々

南北に細長い水巻町の中心には、明神ヶ辻山、多賀山、豊前坊山といった3つの小高い山があります。100メートルに満たない小さな山々ですが、それぞれに古い歴史や伝説が残っています。鳥の鳴き声を聞きながらゆっくりと登ってみましょう。

3つの遊歩道ができました。ひとつは伊豆神社の東側から登るルート **A1**、もうひとつは陶芸室の横から登るルート **A2**で、この2つは途中で合流しています。残りのもうひとつは総合運動公園の弓道場の西側から登るルート **A3**です。どれもゆっくり歩いて15分から20分くらいで山頂に到着します。頂上には八剱神社の大イチョウにまつわる伝説として知られる砦姫物語が10か所のオブジェ風碑板に分かれて描かれており、これを順番に巡りながら読むことができます。さらに黄色い巻貝のような



大きな展望台をぐるぐると回りながら登ると、そこからは水巻町全体が見渡せ、遠くは北九州や響灘を望む360度のパノラマが楽しめます。

明神ヶ辻山
標高96・5メートル
1571年、伊豆神社が古賀の伊豆大明神（現在の久我神社）から分祀された際、社殿を山頂に設けたことにより明神ヶ岳と言われるようになったことが、この山の名前の由来になったと「遠賀郡誌」に書かれています。その後、伊豆神社は山腹に移り、さらに1914年に現在の場所に鎮座されました。伊豆神社の近くの徳照寺の裏手には「与四郎の墓」があります。与四郎は、江戸時代の飢饉のときに、きびしい年貢の取り立てに苦しんでいる頃末の農民たちを救おうとして役人から惨殺された人物です。頃末村の人々は、自分た

ちのために犠牲になった与四郎を弔うために地蔵を建立し供養するようになりました。その物語は今でも語り継がれています。太平洋戦争時は、北九州地区防空のために、山頂に高射砲陣地が設置され、かつてはこの山のことを陣地山と呼んでいた時代もありました。その砲台跡が今でも山頂に残っています。戦争当時、その陣地への物資補給輸送のために、近くの小学生や中学生までもがかり出されて、トラックが通れるほどの道が作られました。現在でもその道を通って山頂に登ることができます。1994年に、本格的な公園整備が行われ、山頂までの



晴れたららのんびり山歩き

山を散策するといつもと違った水巻町が見えてきます。今回は水巻町の中心にある明神ヶ辻山、多賀山、豊前坊山への地図を用意しました。天気の良い日に家族やペットと一緒に出かけしてみたいかがでしよう。



多賀山
標高91メートル



1684年、山頂に多賀神社が鎮座されたことがこの山の名前の由来になっています。多賀神社は220年あまり祭られてきましたが、1910年に古賀村の久我神社に合祀されました。

1936年、炭鉱が隆盛を極めていたころ、日炭高松の炭坑の守護神として四国愛媛

県大三島の大山祇神社から分霊された大山祇神社が、この山の中腹に祭られていました。春秋の大祭には賑わいを見せていましたが、1971年に炭坑が閉山となり、ご神体は四国の大山祇神社に返還されました。

大山祇神社は別名「山の神」とも呼ばれ、この「山の神」という名は、最近までバス停の名前として使われていました。現在では、大山祇神社は跡形もなく、かつて社殿があった基礎部分のみが残されています。

2005年4月に多賀山自然公園が整備され、山頂へ3つの散策ルートができました。中でも、図書館の上の駐車場から石段を登って行くルート

B-1が便利です。中腹の大山祇神社があった境内には、東屋やログハウスのトイレなどが整備されました。あたりは、

桜の大きさがたくさん植えられていて、春には見事な花を咲かせます。毎年たくさんの方がお花見に訪れます。

図書館の北側には、十字架の塔があります。これは、戦時中、日本軍の捕虜となり、炭鉱などで強制労働をさせられた末、日本で亡くなった連合軍兵士のための慰霊塔です。

毎年、オランダからの慰霊団が訪れ、献花式を行っています。このような慰霊団と町民との交流がきっかけで、水巻町とオランダ市のノールドオーストポルダー市との間で中学生の平和交流が始まりました。この中学生交流は現在も続いています。

多賀山に登るルートとしては、ほかにも、緑ヶ丘の住宅地の横から登る遊歩道が2か所あります。**B-2**、**B-3**どちらも、山頂までは15分ほどで着きます。

この遊歩道は現在も続いています。

豊前坊山
標高84・7メートル

古い資料の中には、豊前坊山の名はなく、久我嶽、古賀嶽、古城山などと記されています。水巻昔話(柴田貞志著)には次のように書かれています。

「昔、古賀城主の麻生鎮里が英彦山の豊前坊にある高住神社を古賀嶽の山頂の城に祭ったのが始まりで、それから後は、豊前坊山というようになった。」あるいは、「昔、遠賀川は、米俵や炭俵を積んだ川舟が往來してにぎやかだった。

しかし、いったん大雨となれば川が氾濫して洪水となり、豊前国の船頭衆は5日も10日も国へ帰れなくて、古賀村の入り江に舟を避難させて水を引くのを待った。そのため豊前国の船頭衆たちは、古賀嶽の山頂に登って故郷の豊前の国を望んで、妻や子に思いをはせた。これが度重なるうちに古賀嶽を豊前望山というようになった。」といった名前の由来にまつわる民話がいっぱい紹介されていますが、どれも正しいのかよく分かっていません。

この豊前坊山の山頂には古



「まちの山」ルートマップ

山の散策にあわせて民話にゆかりのある場所を訪れてみてはいかがですか？



① 与四郎の墓
江戸時代の飢饉のとき、厳しい年貢の取立てに困り果てた頃末村の人々を救おうとして命を落とした与四郎の墓。



② 十字架の塔
第二次世界大戦当時、日本軍の捕虜として日本に連れてこられ、日本で命を落とした連合軍兵士の慰霊のために建てられた塔。



③ 久我神社
神社・創建時期は不詳ですが、古事記や日本書紀に出てくる神功皇后の時代ではないかと言われています。安産の神様として崇められています。



↑ 明神ヶ辻山の山頂でハイチーズ！

賀城址と呼ばれる城跡があります。今でもその城郭の一部として頂上付近には二ノ丸の石垣や北側の山麓集落には当時の武家屋敷の面影を残す石垣が残っています。

豊前坊山頂へは、久我神社の東側の遊歩道を登るルート **C-1** と緑ヶ丘の住宅地の脇から登るルート **C-2** があります。頂上に立つてみると、北は芦屋・山鹿を、西は遠く宗像連山を、南は遠賀川の流れの向こうに鞍手、直方を眺めることができ、要塞堅固な山城の物見役として活躍していた戦国兵士をしのぶことができます。

水巻町の主要施設マップ



ターゲットバードゴルフ場

- 住** 水巻町猪熊 10丁目 1470 番地の 1 地先
- ☎** 080-5246-2020
- 🕒** 9:00~16:30 (冬季 16:00 まで)
- 👤** 年末年始
- P** あり



近隣で体験できるのはここだけです
ターゲットバードゴルフ場

A2

※ 各ページのマップ横の記号は、この地図の座標とリンクしています。

地図記号

- ⊗ 交番
- 〒 郵便局
- 校 学校
- 神社
- 🛢️ ガソリンスタンド
- 主要施設
- 27 県道
- 3 国道
- ⊕ 交差点
- 道路
- 線路
- 河川
- - - 市町界線